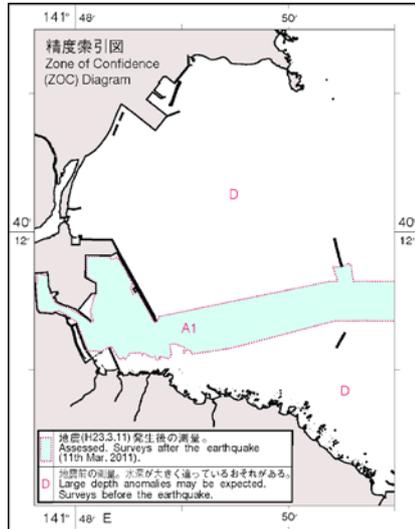


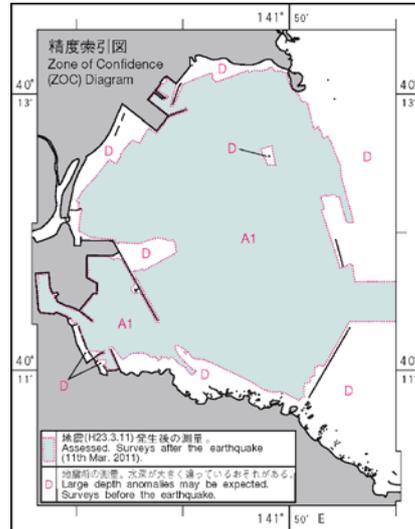
1, 海図「久慈港」(海図番号 W1080)

久慈港は、震災後、航路と主要岸壁付近の測量を実施し、平成 24 年 2 月に海図を改版しました。

今回の改版では測量船「天洋」及び「明洋」による測量(平成 25 年 9 月～平成 26 年 1 月)の成果を使用して、漁網などの存在により測量することが出来なかった一部の海域を除くほぼ全域のデータを更新しています。



平成 24 年 2 月刊行



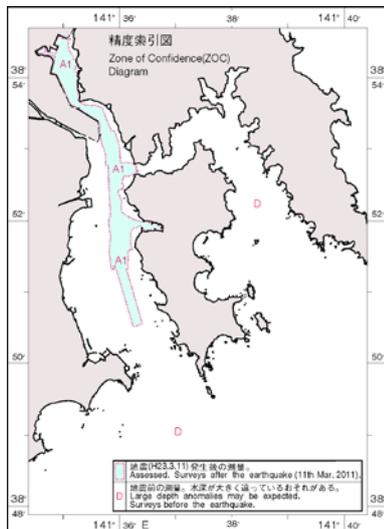
平成 27 年 3 月刊行

水色の区域が震災後の測量区域(海図記載の域精度索引図より)。

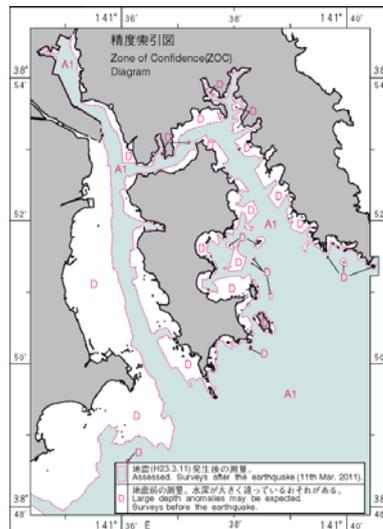
2, 海図「気仙沼湾」(海図番号 W1099)

気仙沼湾は、震災後、航路と主要岸壁付近の測量を実施し、平成 24 年 11 月に海図を改版しました。

今回の改版では測量船「天洋」及び「明洋」による測量(平成 25 年 4 月～平成 25 年 10 月)の成果を使用して、漁網などの存在により測量することが出来なかった一部の海域を除くほぼ全域のデータを更新しています。

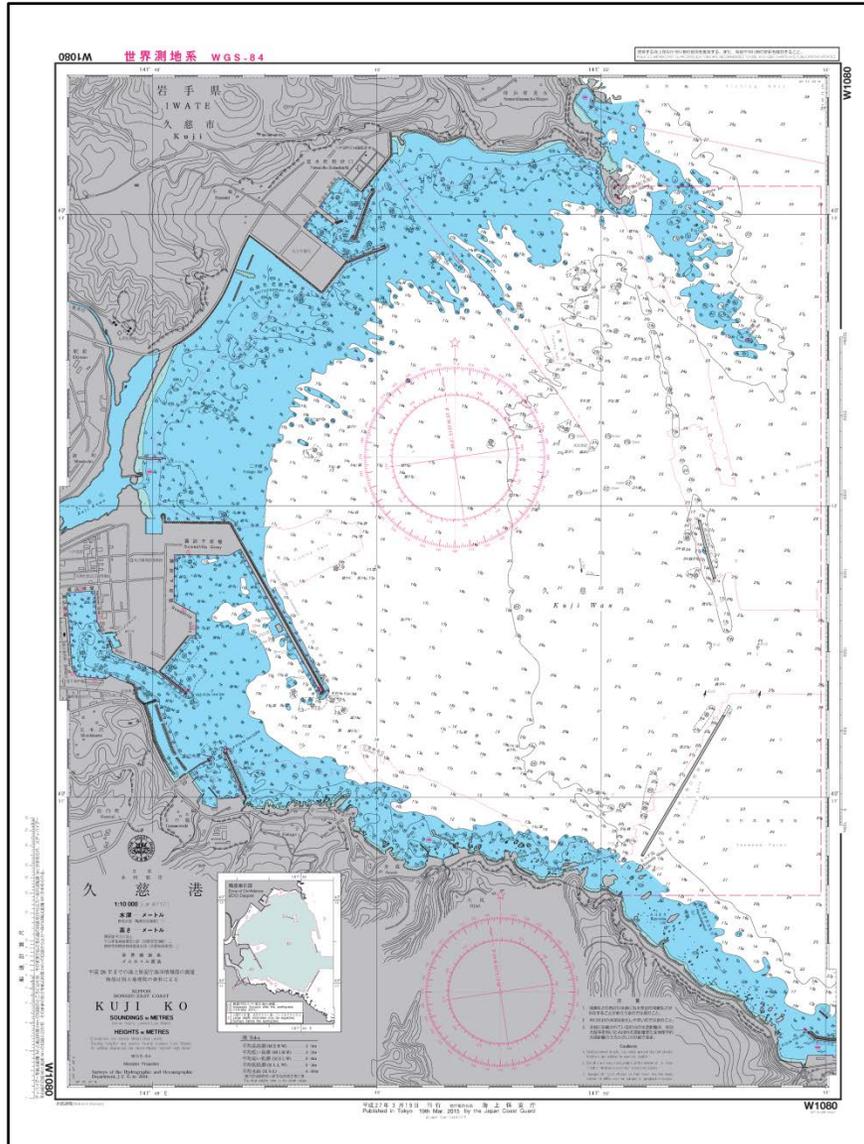


平成 24 年 11 月刊行

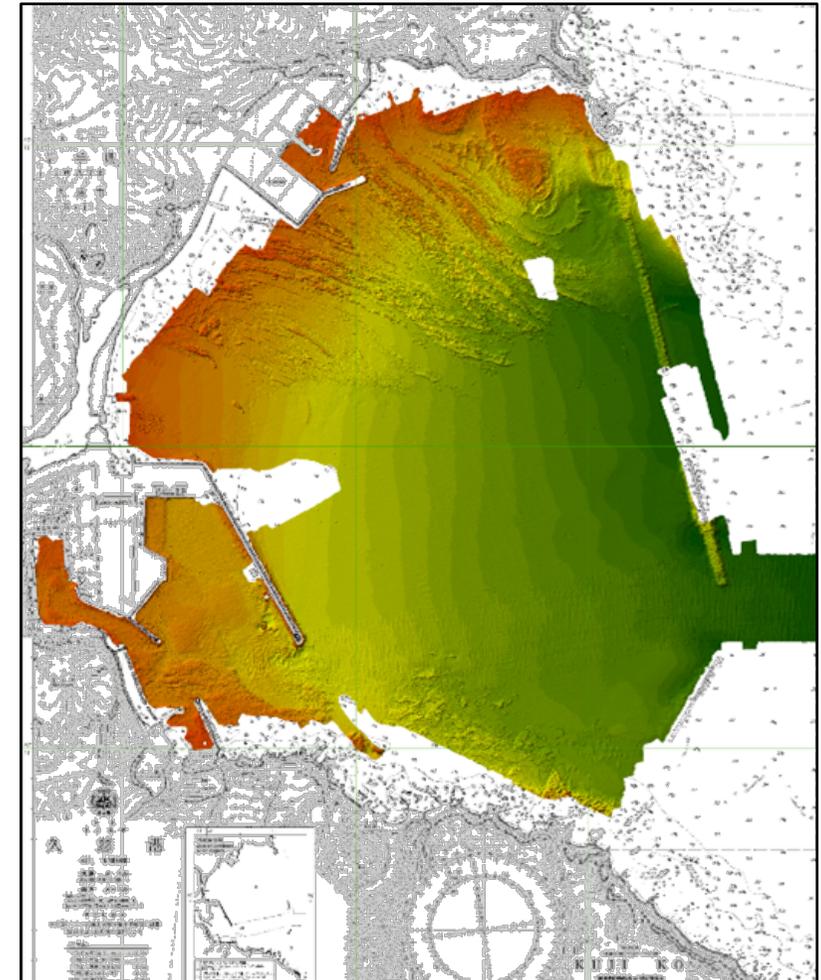


平成 27 年 3 月刊行

水色の区域が震災後の測量区域(海図記載の精度索引図より)。

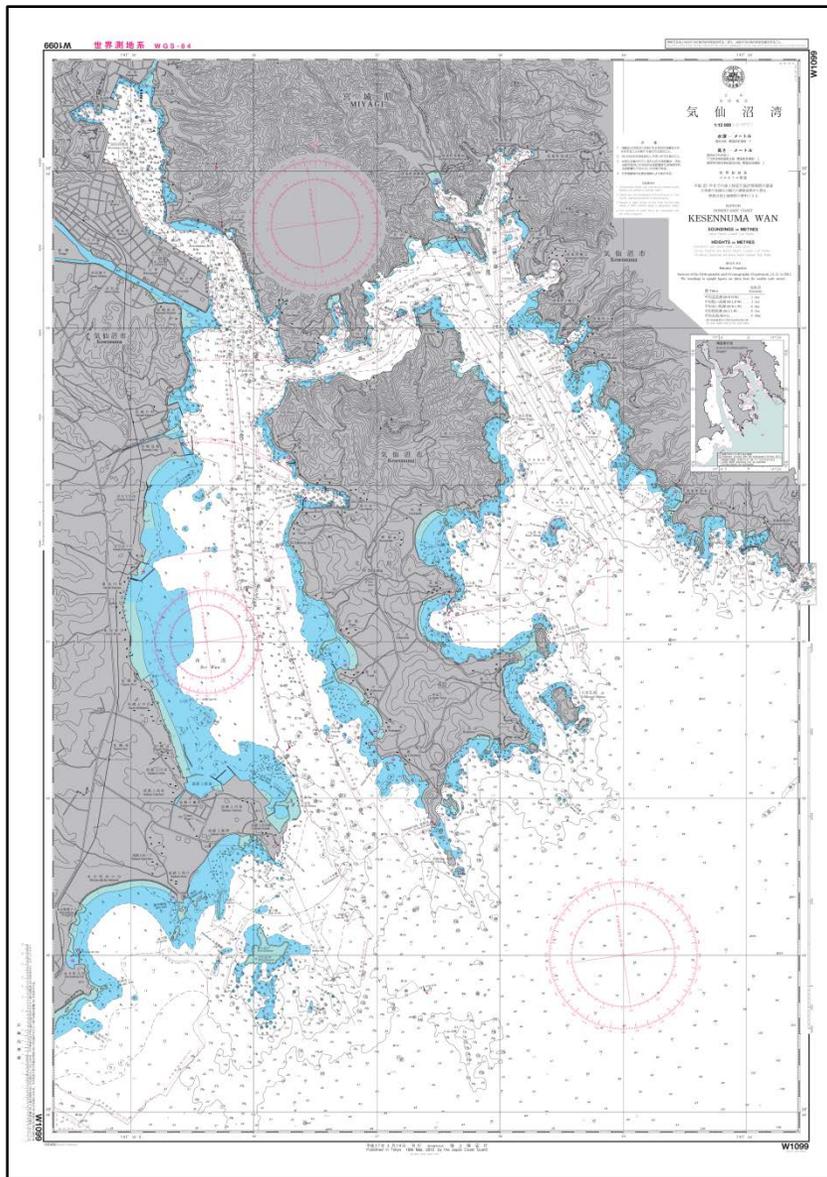


海図: 久慈港 W1080

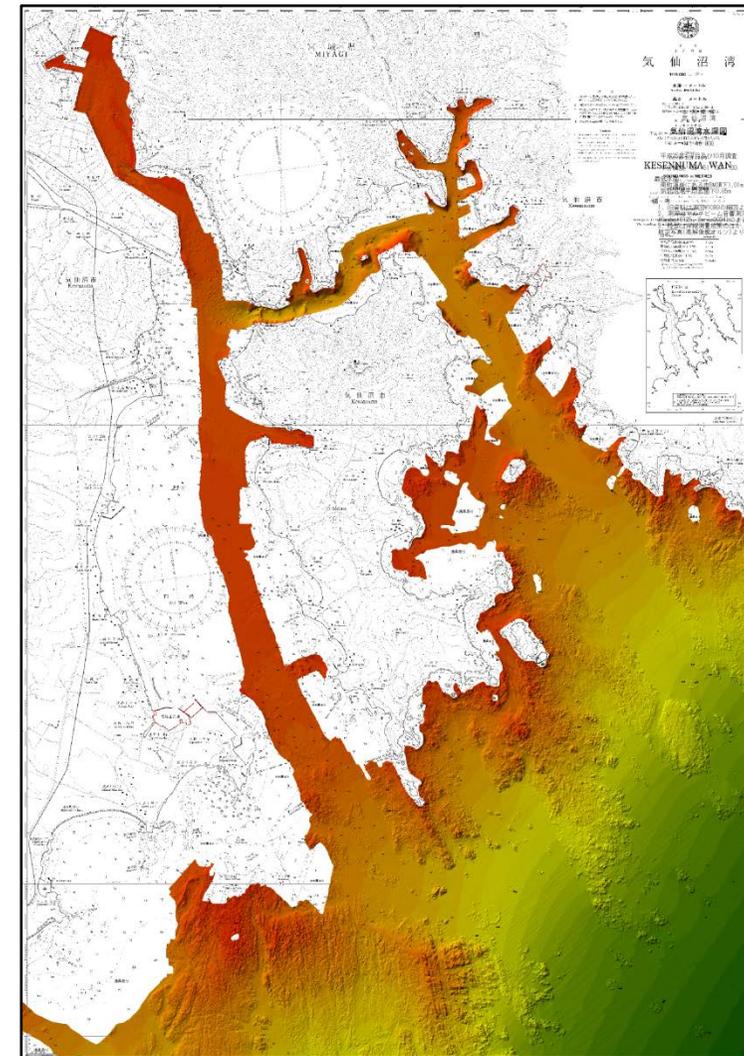


参考: 海底地形陰影図

水深毎に色分けをし、海底地形を分かり易く表現したものです。赤いほど浅く、緑色が濃くなるに従って深くなっていきます。区域の北側には岩盤による縞模様が見えます。



海図:気仙沼湾 W1099



参考:海底地形陰影図

水深毎に色分けをし、海底地形を分かり易く表現したものです。赤いほど浅く、緑色が濃くなるに従って深くなっていきます。区域の南側に陸から延びる岩の地形が広がっています